

平野の杜

学校の教育目標
志をもって学び、郷土を愛し、共に高め合い
未来を切り拓いていく生徒の育成

令和4年12月21日 文責 副校長 藤田 天平

◆第3回学校運営協議会を開催しました！

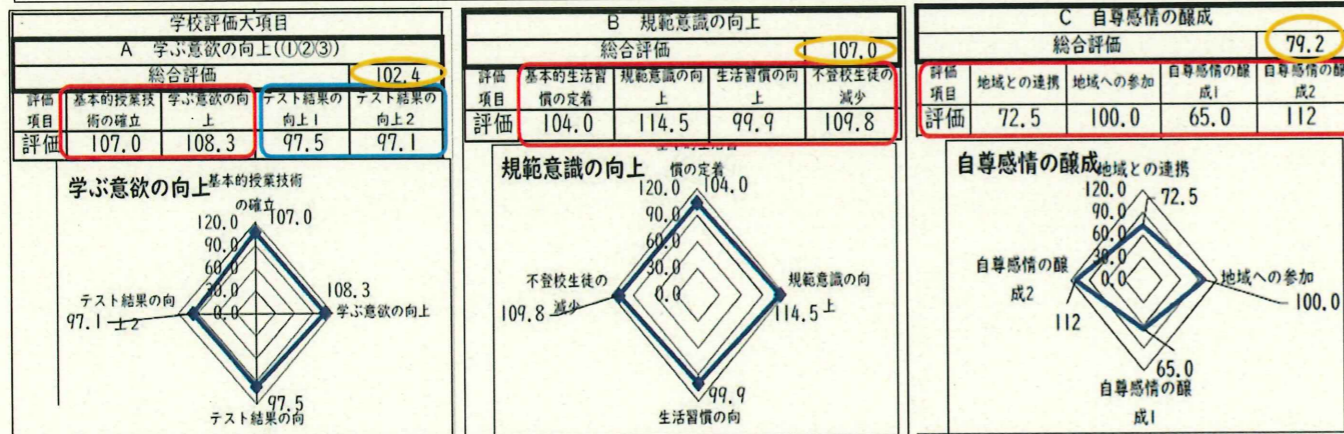
12月16日(金)15:30から本年度の第3回学校運営協議会を開催しました。今回は「前期学校評価」「校則・制服」や「地域連携活動」について報告し、協議をおこなっていただきました。

◆前期学校評価報告

本校は毎年、生徒、保護者、地域、教職員を対象にアンケートを実施し、学校評価としてまとめています。今回はその中間報告を行いました。

学校評価は以下のように大きく3点で目標をたて、アンケート結果等を分析しています。

- I 『学ぶ意欲の向上』 意欲をもって学び、考え、判断し、表現する創造性豊かな生徒の育成
- II 『規範意識の向上』 自他を大切にし、個性を生かして共に伸びる情操豊かな生徒の育成
- III 『自尊感情の醸成』 礼儀正しく、心身共に健康でたくましく生きる生徒の育成



『学ぶ意欲の向上』については、総合評価が102.4で概ね目標を達成することができました。また、『規範意識の向上』についても、総合評価が107.0で目標を達成しています。しかし、『自尊感情の醸成』については、総合評価が79.2と低い評価となっています。その原因として「地域との連携」については、コロナ禍の影響で保護者や地域の皆様にとって、学校の取組が見えにくい状況になっていることが考えられます。また、「自尊感情の醸成I」については、「個のよさの伸長」「集団づくり」「主体的な活動」を学校が行っているかの質問項目で、体験活動やボランティア活動が十分に実施できていないため大きく影響していると考えられます。これらの結果を踏まえ、後期の重点として以下の点に取り組んでいきます。

- 学力向上に向けて授業改善を各教科で組織的・計画的に進めます。
- 入試や学力テスト等の総合的な問題に対応できるように学んだ知識を「活用」する力を高める取組を実践します。
- サイクル学習の充実を図りながら、より効果的な取組を実践します。
- 開発的・予防的な生徒指導への転換を組織的に推進し、体験活動や生徒会活動の自主活動を実践します。
- 保護者や地域との連携・協働の活動や取組を模索するとともに、地域の学校支援の在り方を組織化します。



◆校則・制服の改定について

今年度の学校運営協議会で協議の中心となったのが「時代に即した校則や制服の在り方」でした。第1回、第2回の協議会においてご意見をいただいた改定の方向性を受け、校内では校則検討委員会、制服検討委員会を開催し、検討を続けてきました。

【改定の方向性】

- ①子どもが自分で考え、決め、それを守っていくものとする
- ②子どもが成長するための手段としての校則にする
- ③説明がつかない校則については検討し、説明がつくものにする
- ④LGBTQの観点から男女共通の校則にする
- ⑤社会が変わっているため、今の時代に即した校則を検討する

令和5年度より実施する新しい校則については、11月15日(火)に全校生徒へ報告していますが、その内容を学校運営協議会の皆様にも報告しました。また、制服検討委員会で検討を続けてきた「通学バッグ」は令和5年度からリュックタイプに変更すること、女子の制服については、「スカート」と「スラックス」の選択制に変更することを報告し、了承いただきました。

◆地域連携活動について

コロナ禍でここ数年間、地域との連携や地域への貢献活動が制限されていましたが、今年度は可能な限り地域における活動を再開してきました。令和4年度の活動の目標は「自分の地区に参加する地域ボランティア100%」でした。これまで平野中学校はボランティア活動に自主的に参加する生徒が少なく、部活動単位でボランティアに参加してもらっていました。しかし、今年度は各地区の代表生徒が積極的に呼びかけを行い、現時点で自分の地区のボランティアに100%参加できています。春のクリーンシティに始まり、1年生の地域貢献活動、夏祭りの準備、敬老の日のメッセージカード作り、秋のクリーンシティ、運動会準備・運営、若草グランドゴルフ大会、若草マチピカ運動、つつじヶ丘収穫祭、平野台絶叫大会、若草芸能発表会、各地区の餅つき大会などの地区行事や南コミ「スマホ教室」、みなみマルシェ、おおの山城大文字祭り、银杏会との花植え作業、ランドセルクラブ小中交流会と様々な場面でボランティア活動を行うことができました。そのたびに地域の方々からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。このような活動をとおして、地域との連携を深めるとともに、子どもたちの自尊感情が高まっていくことを期待しています。

◆会員の皆様からご質問やご意見をいただきました

会の終わりに会員の皆様からご質問やご意見をいただきました。一部を紹介します。

- 生徒は新しい校則に満足しているか
→満足かどうかは分からないが、校則検討委員会に生徒も参加し、意見を出した上でつくられた校則で、生徒への報告会も行っているため、理解はしていると思う。
- 校則が変わるのは他の中学校も同じか。
→大野城市は5中学校で共通理解を図って、説明がつかない校則は変更する方向で進んでいる。今年度か来年度中には全校改定するのではないかと考える。
- LGBTQの観点から考えると制服や校則の見直しは良いと思うが、トイレ等についてはどのように対応していくのか。
→今の段階ではまずは制服、校則の見直しをしっかりと行うことが大切と考える。今後は着替えの問題やトイレの問題など施設面も考えなければならない。ちなみに現在本校には多目的トイレが1カ所しかない。



次の学校運営協議会は令和5年2月21日(火)15:30から多目的室にて行います。